厚生労働省所管
東北能開大青森校

# 青森職業能力開発短期大学校 同窓会 会報誌

発　行　所
青森職業能力開発短期大学校
同窓会事務局
〒037-0002
五所川原市大字飯詰字狐野171-2
青森職業能力開発短期大学校
(ポリテクカレッジ青森)内
電話：0173-37-3201
FAX：0173-37-3203

## ごあいさつ

青森職業能力開発短期大学校同窓会　会長　田辺　崇

同窓生の皆様、こんにちは。コロナ禍は学園祭等の学校行事もそうですが、同窓会活動も中止もしくは縮小して開催せざるを得ませんでしたが、今年度から活動を再開いたします。

この度、制限のある中でも開催された学校の行事等の新聞掲載記事をもとに令和２年以降の近況をまとめましたので、是非ご覧いただきたいと思います。

今後は、総会を学園祭と同日に合わせて開催してまいります。今年度は８月27日(日)に開催いたしますので、より多くの同窓生の皆様にご参加いただくとともに、母校や在校生の激励に足をお運びいただければ幸いです。多くの同窓生の皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

また、昨今の社会情勢に伴い個人情報の取扱いが困難になっていることから、総会の開催や同窓会に関わる情報の周知は郵送ではなくホームページへ完全移行させていただくことといたしました。

皆様には今後とも同窓会活動にご理解とご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 東日流祭４年ぶり開催

８月27日(日)９時30分から、４年ぶりに東日流祭（青森短大学園祭）が開催されます。当日は模擬店コーナーや学食のメニューが食べられる飲食コーナー、ものづくり体験教室等、ご家族で楽しめるイベントも盛り沢山です。

メインステージではビンゴ大会や青森市観光大使のアイドルユニット「ＧＭＵ」のステージショーなども開催予定。同窓生の皆様も久しぶりに母校で楽しんではいかがでしょうか？

詳細は同封の案内チラシ、及びホームページでご確認ください。

久々の開催となる東日流祭。学食の味が恋しい方もいるのでは？

## 同窓会事務局よりお知らせ

同窓生の皆様方に学校側からお知らせがございます。会報の発行に伴い、学生募集（オープンキャンパス案内）や在職者向け能力開発セミナー、学園祭の開催等の各案内チラシも同封させていただきました。

学生募集に関しては、現在令和６年度入学生の募集をしており、10月から各種入学試験が実施されます。青森県内の深刻な少子化による高校の統廃合も進む中、青森短大も入学者定員（生産機械技術科15名、電気エネルギー制御科20名、電子情報技術科20名　令和６年度募集）の縮小が進んでもなお、定員を充足するのが厳しい状況となっています。

当校に対してご理解のある同窓生の皆様におかれましては、お子様やご兄弟、お知り合いの方等で工科系の大学等への進学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非、当校をお勧めいただけますと幸いです。オープンキャンパスの開催日程も決まってはおりますが、日程が合わない等の場合は、個別に学校見学、ガイダンス等も対応いたしますので、ご相談ください。（ご相談時に「同窓会員からの紹介で」と一言おっしゃってください）

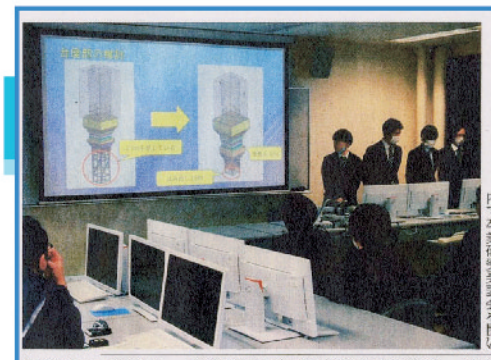
在職者向けの能力開発セミナーについては、特に製造業等のものづくりの現場においての社員研修、個々のスキルアップ等にご活用いただけます。DX・GX等に対応したコースや、まとまった人数でのお申込みで対応可能なオーダーメイドセミナー、企業様に出張してのセミナー等に対応いたします。学生の時のみならず、企業人となった後も青森短大を活用いただけます。

今後の同窓会活動については、下記の青森短大（東北能開大青森校）ホームページにて告知させていただきます。

https://www3.jeed.go.jp/aomori/college/

東北能開大青森校ホームページ　メニューより、「OB・OGの方」→「同窓会情報」スマートフォンからは、 ⇒⇒⇒

## 令和２年～新聞掲載記事



卒業研究を発表
学びの総まとめ
五所川原・職能開発短期大学校

五所川原市の東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校（鶴原祥夫校長）は2月24日、校内で卒業研究発表会を開いた。生産技術、電気エネルギー制御、電子情報技術の3科の2年生53人が学科別に卒業研究内容を発表し、学びの総まとめをした。

生産技術科は3グループが発表。このうち同市の依頼を受けて中型立佞武多の昇降装置の製作研究を進めたグループは昇降機と台座部分の構想設計や、骨格に使用する鼓管等の固定部材の強度試験の結果を紹介。人形部分を載せての実験まで至らなかったことから、後輩に研究を引き継ぎ、来年度以降も検証を続けることを説明した。

同グループの櫓口燈哉さんは「依頼内容に沿うように、予算内で製作するのが大変だった。練習したかいがあって発表はうまくできた」と話した。（石田紅子）

◀卒業研究を発表　学びの総まとめ

令和３年３月６日　陸奥新報20面掲載

津軽鉄道 全線開業90＋１周年

特別ヘッドマークで出発

記念の特別ヘッドマークを取り付けた車両を背にテープカットする澤田社長ら

サポーターズク企画

新型コロナウイルスの影響で昨年、全線開業90周年の各種イベントを見合わせた津軽鉄道（澤田長一郎社長）で2日、全線開業90周年＋１（プラスワン）として、記念の特別ヘッドマークを取り付けた車両の出発式が行われた。

ヘッドマークの制作は津軽鉄道サポーターズクラブ（高瀬英人会長）が企画した。沿線にある東北職業能力開発短期大学校青森校2年の澤田透也さん（19）、同クラブ会員の大鰐町在住の五所川原市の橋崎貴人代表がデザインした。

澤田さんの作品は、炎の中からよみがえる不死鳥をイメージし、勇ましさと勢いを感じさせるデザイン。橋崎さんの図柔は、緑地に社紋を添えしゃいンプルさを追求した。

21日の出発式では、澤田さんと代理出席した橋崎さんの母裕子さんが、澤田社長にヘッドマークを寄贈した。整備員が車両の前後に取り付け、テープカットをして出発を祝った。澤田社長は「非常はコロナで中止したが、今年は状況を見てできる」と考えていたい」と抱負。

デザインを考案した澤田さんは「コロナで先行き不透明だが、希望を持ってもらいたいと不死鳥を採用した。自分のデザインが多くの人に見てもらえるのは楽しみ」と話した。

ヘッドマークは縦30センチ、横50センチのアルミ複合板。走れメロス号4両の前後に設置、開業記念の11月13日まで運行する。

令和３年４月23日　東奥日報18面掲載

◀津軽鉄道　全線開業90＋１周年
特別ヘッドマークで出発

# 令和2年～新聞掲載記事

## 小中学生がドローン操作
### 発明クラブ体験教室　能開大生がアドバイス

五所川原

五所川原市少年少女発明クラブ(福士寛美会長)は13日、同市の五所川原職業能力開発校で「ドローン体験教室」を開講した。東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校の学生4人が小中学生約20人に指導した。

学生らは同クラブからの要請に応じて手弁当で参加。小中学生にドローンの仕組みを説明した後、コントローラーによる操作の様子を見守り、必要に応じて助言した。

東北能開大青森校2年の工藤優さん(19)＝つがる市＝は「最近はIoT(モノのインターネット)など電子関係の技術が進んでいる中で、地域の子どもたちがこうした教室に興味を持ってくれるのはうれしい。皆さんがプログラム教育には触れているので、あとは現場で実践していってもらえたら」と期待した。

福士会長は「学生たちは休日だというのに駆け付けてくれた。若い力による支援はありがたい」と笑顔を見せた。(渋谷紘一)

ドローンの操作に集中する五所川原市少年少女発明クラブのメンバー(中央)

令和３年11月21日　陸奥新報17面掲載

▲小中学生がドローン操作
発明クラブ体験教室
能開大生がアドバイス

## 東北職能大・短大　ものづくり競技会
## 青森校・阿部さん１位
### 電気回線の課題に挑戦

図面に従って電気回路の製作競技に挑む学生たち(青森校提供)

五所川原

阿部隼平さん

五所川原市の青森職業能力開発短期大学校(青森校)で1月28日、「電気系ものづくり競技会」が開かれた。同校と東北職業能力開発大学校(宮城県、本校)の電気エネルギー制御科の1年生各3人ずつ計6人が電気回路の製作技術を競い、審査の結果、青森校の阿部隼平さん(19)が1位となった。

学生のものづくりに対する学習意欲向上を目的に毎年行われており今年で20回目。電気のほか機械、電子情報、建築の学科ごとに開かれている。

学生たちは「第2種電気工事士」試験を参考にした二つの課題に挑戦した。配線図面を見ながら電源やスイッチ、照明具などの部品を接続して回路を製作。制限時間内で配線のバランスや仕上がりの正確性などを競った。

審査の結果、1位に輝いた阿部さんは「二つの課題のうち一つは時間内に完成できず正直厳しいと思ったが、結果を聞いてびっくりした。これからの自信になる」と喜んでいた。(秋元宏宣)

他の入賞者は次の通り。②村上叶(本校)③関勘太(同)

令和４年２月６日　東奥日報15面掲載

▲東北職能大・短大　ものづくり競技会
青森校・阿部さん１位　電気回線の課題に挑戦

## 実習体験など進学の参考に
### 東北能開大青森校　オープンキャンパス

五所川原

ものづくりを体験した東北能開大青森校のオープンキャンパス

五所川原市の東北職業能力開発大学校付属青森職業能力開発短期大学校(東北能開大青森校、森田順司校長)で19日、オープンキャンパスが開かれた。入学を考えている県内の高校2、3年生と保護者計40人が参加。校内を見学したり実習を体験したりして、学校の雰囲気を感じていた。

同校はものづくりの実践技術者の育成を目指した厚生労働省所管の大学校。今回のオープンキャンパスでは教育方針や特徴、教育内容を紹介した。

実習体験では生産技術、電気エネルギー制御、電子情報技術の3学科に分かれ、三次元CAD、実習用ロボットプログラム、電子オルゴール製作などを体験した。校内見学は工作機械の旋盤や3Dプリンターなどの設備を見て回り、昼食では学食を味わった。

同校の杉村直哉学務援助課長は「当校は卒業する時に何か製品を作ることが大学とは違うところ。実習機材も1人1台で、少人数制で授業が受けられる」と説明した。

電子オルゴール製作に参加した弘前工業高校3年の三浦怜士君は「思っていたより最初はうまくできなかったが、先生の話を聞いてやっていくうちに基板について分かった」と話した。

オープンキャンパスは7月24日、8月28日、9月25日(8月19日にもある。問い合わせは同校☎0173(37)3201)へ。(工藤巧)

令和４年６月24日　陸奥新報15面掲載

▲実習体験など進学の参考に
東北能開大青森校　オープンキャンパス

## 知識や技術習得　40人新たな一歩
### 東北能開大青森校　卒業証書授与式

五所川原

五所川原市の東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校(東北能開大青森校、森田順司校長)で9日、卒業証書授与式が行われ、ものづくり産業のプロの技術者を目指して知識や技術を2年間学んだ40人が新たな一歩を踏み出した。

生産技術科11人、電気エネルギー制御科11人、電子情報技術科18人が卒業。森田校長が卒業証書を手渡し、「それぞれ進む道は異なるが、当校で習得した技能、技術などを生かして活躍されることだろう。現在の少子化の時代において

記念撮影に臨む卒業生たち

は、皆さんは貴重な人材であり、これからの時代を担っていくことが期待される」と式辞を述べた。

来賓祝辞の後、卒業生を代表し、生産技術科の福田胡羽久さんが「充実した設備でさまざまな授業や実習を行ってきた。さらに努力していくと」謝辞を述べた。

式終了後は各科で記念撮影した。(工藤巧)

令和５年３月11日　陸奥新報18面掲載

▲知識や技能習得　40人新たな一歩
東北能開大青森校　卒業証書授与式

## 新たな学びへ45人決意
### 東北能開大青森校で入学式

五所川原

森田校長(左)の前で宣誓する新入生代表の鳴海さん

五所川原市の東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校(東北能開大青森校、森田順司校長)は4日、同校で2023年度入学式を行った。45人の新入生が集い、新たな学びに挑むことを誓った。

今年度は生産技術科13人、電気エネルギー制御科8人、電子情報技術科24人の計45人が入学。2年間でものづくりに関する高度な専門知識と技能の習得を目指す。

入学式では新入生が1人ずつ氏名を呼ばれて入学認定を受けた後、森田校長があいさつ。「これまで800人以上が卒業し、産業界で職場のリーダーや中堅技術者として活躍している」とし、「多くのことが初めての経験かもしれないが、成長への貴重な経験としてほしい」と激励した。

続いて、新入生を代表し、同市出身の電子情報技術科、鳴海鳳呼さん(18)が「豊かな人間性と高度な技能、技術を持った、ものづくりのスペシャリストとなるため研さんに努める」と宣誓した。(下山和枝)

令和５年４月６日　陸奥新報16面掲載

▲新たな学びへ45人決意
東北能開大青森校で入学式

## 住民手入れ「市の花」鮮やか

五所川原　津鉄・飯詰駅

津軽飯詰駅のホーム沿いで見ごろとなっているノハナショウブ＝21日、五所川原市

五所川原市の津軽鉄道・津軽飯詰駅で、ノハナショウブが見ごろとなっている。鮮やかな紫の花が、乗客やホームで待つ利用客の目を楽しませている。

ノハナショウブは園芸用のハナショウブの原種で、五所川原の「市の花」にもなっている。同駅では、1985年の津鉄開業55周年を記念してホーム沿いに植えられた。現在は地元の住民グループ「飯詰を元気にする会」(岡田千秋会長)と東北能開大青森校の学生たちが、毎年草刈りや植え替えなどを行って、花畑の維持に努めている。

笹田会長は「年々花の数が増えているので、うれしい。さらに範囲を広くしていくことを目標に、活動を続けたい」と話している。(藤木耕一郎)

令和５年６月22日　東奥日報1面掲載

▲住民手入れ「市の花」鮮やか
五所川原　津鉄・飯詰駅

本誌に掲載の記事は東奥日報社及び陸奥新報社からの提供を受け掲載しています。
この他にも数多く取り上げられています。こちらからご確認ください。
https://www.aomori-pc.jp/cgi-bin/town_list.cgi

### 青森職業能力開発短期大学校
### 同窓会役員名簿

| | 氏　名 |
|---|---|
| 会　長 | 田　辺　　崇 |
| 副会長 | 齋　藤　孝　行 |
| 副会長 | 白　川　利　明 |
| 理　事 | 平　野　幸　英 |
| 理　事 | 石　山　裕　太 |
| 理　事 | 山　田　大　夢 |
| 理　事 | 工　藤　伊　織 |
| 理　事 | 藤　田　　颯 |
| 会　計 | 下　山　宏　太 |
| 会計監査 | 熊　澤　靖　夫 |
| 会計監査 | 野　上　愛　子 |
| 会計監査 | 對　馬　明　宏 |

## 令和5年度　同窓会総会開催のお知らせ

**開催日時：８月27日(日)　16:00～17:00**

**開催場所：青森職業能力開発短期大学校　A棟 視聴覚教室**

東日流祭(学園祭)と同日に、学園祭終了後に開催いたします。参加ご希望の方は、8月21日(月)までに下記のアドレスに対して必要事項を記入の上、事務局あてメール送信いただきますよう、お願いします。(下記二次元コードにより、スマートフォンからの送信も可能です。)

●メールアドレス：aomoritandaidousoukai@gmail.com
●タイトル：同窓会総会出席します
●本文：出席者氏名：○○　○○
　　卒業年度：平成○年度
　　卒業学科：○○○○科
　　スマートフォン等から、二次元コード読み取りでメール作成いただけます。⇒⇒⇒